

7月8日

テーマ：「将来と希望を与える計画」

聖書箇所：エレミヤ書29章11節

◆今日のみことば

わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——主の御告げ
——それはわざわいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望
与えるためのものだ。エレミヤ書29章11節

◆メッセージ

有名な物理学者のアインシュタインという人がいます。この人はこのようなことを言いました。
「昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しましょう。」素敵な言葉ですね。でもどうでしょうか、
「明日へ期待しましょう」と言われても、今の世の中ではなかなか
期待することができないのではないのでしょうか。世界中で様々な
災害が起こっています。また戦争がなくなることはありません。そ
して日本でも経済的に厳しい時代となり、就職先が見つからない
など、子どもや若者が将来に期待を持ってないような時代となっ
ています。就職、結婚・・・その先の将来は？どんな希望がある
でしょう？



エレミヤさんが預言者として働いていた時代もそうでした。イスラエルの国は南と北に分裂し、
国は滅亡していきました。そのような中、人々は先も見えない明日に、誰もが期待などでぎずにい
たのです。しかし、エレミヤさんは神さまには計画があること、そしてそれは「わざわい」ではな
く「将来と希望を与える」ものだとはっきりと伝えました。神さまの計画は、救いを与える計画で
した。死で終わってしまう将来ではなく、神さまの愛のうちに歩み、ずっと神さまと生
きていくことができる救いの計画。これこそ、希望！



しかしエレミヤさんの時代の人々は、そのように言われてもなかなか信じられま
せんでした。暗い心を抱えたまま、生きることになりました。告げられたこと
を必ず成し遂げてくださる神さまが「将来と希望がある」、とおっし
やっているのに、目に見えるもので判断してあきらめるのではなく、
御言葉を信じ、愛する者のために神さまが用意されてくださる将来
を、信仰を持って、待ち望んでいきましょう。「信仰は望んでいる事柄を保証し、目に見えないも
のを確信させるものです。」(ヘブル11章1節)

◆お祈り

「様々な出来事が起こる中でも、神さまの計画は私たちに将来と希望を与えるものであること
を信じることができるように助けてください。」(衣笠中央キリスト教会牧師 三浦峰人)